

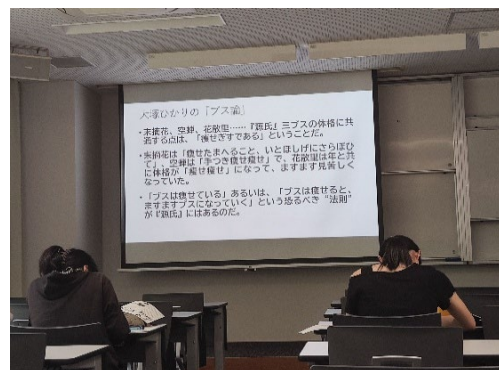
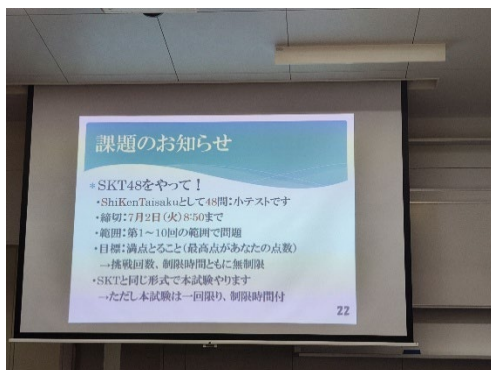
はじめに

この文では、日本での一年間の留学体験についてまとめる。留学中に経験した授業、キャンパスライフ、ホームステイ、学生チューターとの交流、旅行、食文化について振り返りながら、学んだことやいろいろなことを思い出す。

授業とキャンパスライフ

この一年間、単位取得のために多くの授業を履修し、非常に忙しい日々を過ごした。特に古典文学の授業は難しく、登場人物の関係や名前の読み方を覚えること、日本の伝統文化の背景を理解することに苦勞した。先生たちの授業は、とても面白くて、貴重な学びの機会であった。

また、日本の大学ではウェブサイトを利用して授業資料の配布や課題提出、時間割の確認などを行う点が、中国の大学と異なっていた。学生食堂では和食や海外風味の料理が提供され、毎日の食事を楽しみにしていた。



ホームステイと学生チューター

4月には山口県美祢市のホストファミリーの家にお邪魔しました。初めてのホームステイなので、日本語でのコミュニケーションに不安を感じていたが、ホストファミリーの温かい対応のおかげで安心して過ごすことができた。たこ焼き作りを体験し、日本の家庭の雰囲気を味わうことができた。

また、この一年間、学生チューターには大変お世話になった。彼女たちは生活面や学習面で様々なサポートをしてくれた。例えば、買い物に付き添ってくれたり、一緒に料理をしたり、様々なレストランを体験した。

クリスマスの時期には、彼女たちが所属する吹奏楽団の演奏を聴きに行き、素晴らしい時間を過ごした。



旅行と食文化

日本国内では小倉、福岡、東京、大阪、広島などを訪れた。しかし、これだけでは日本を完全に理解したとは言えず、まだまだ多くのことを学ぶ必要があると感じた。

日本の食文化についても多くの発見があった。特にデザートは非常に美味しく、日本のスイーツの繊細な味わいに感動した。



まとめ

この一年間の交換留学を通して、多くのことを学び、貴重な経験を得た。授業では日本の文化や言語を深く学び、ホームステイや学生チューターとの交流を通して日本人の温かさを実感した。また、旅行を通じて日本各地の魅力に触れ、日本文化への理解を深めることができた。この留学経験は今後の人生において大きな宝物となるだろう。この一年間、本当にありがとうございました！